



子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会 広報紙 No.38 2022年2月25日発行

今年秋、文献調査のつぎの概要調査に進むかどうかの住民投票が行われる予定です。過半数が投票しなければ開票されないという問題がありますが、住民の意思を表明できる機会です。寿都の子どもたちの未来に何を残したいですか？ みんなでいっしょに考えていきましょう。

昨年10月26日の町長選挙のあと、小休止していた町民の会ですが、再出発いたします。よろしくお願いいたします。

今年秋に住民投票 概要調査前に町民は賛否を問われます

昨年の町長選挙では、核ゴミ問題は争点ではないと現職が主張しました。新聞の出口調査によると、たしかに核ゴミ問題以外について現職の業績を評価して、投票された方もいらっしやったようです。

しかし、つぎの住民投票は、核ゴミ問題だけが問われます。「調査だけだから」「カネだけもらえるんだよ」「最後は断れるから」、と町長や資源エネ庁、NUMOを信じていて、大丈夫なのでしょうか？

先祖から受け継いだ私たちの町、子どもたちに引き継いでいく私たちの町。大事なふるさとを核のゴミ捨て場にしたいのでしょうか？ もう一度、考えてみませんか。



2月8日函館
地裁で結審

全員協議会の議事録公開なるか？

核のゴミ最終処分場の文献調査に応募することを話し合っていた議会全員協議会の議事録を公開してくださいという町民からの要求を、議会は拒否しました。それを不服として審査を申し立てたことに対して、情報公開審査会も、非公開の決定を支持しました。寿都町には情報公開条例があるにもかかわらず、議会も情報公開審査会も、それを守る気はありません。

そこで、昨年4月28日、町民の会の会員2人は、寿都町を被告として、議会全員協議会の議事録の公開を求める訴訟を函館地方裁判所に起こしました。この裁判が、先日、2月8日に結審しました。当日は、原告のほか、寿都から町民1人が傍聴に駆けつけました。また、オンライン記者会見にはマスコミ各社など21人が参加。この問題に対する関心の高さが分かりました。原告の2人は、「全員協議会の議事録は、以前は公開されていたのにおかしい」「町民が町を訴えるというのは異常なこと。議会が本来なすべきことを果たしていないからだ」と述べました。判決は3月29日15時に言い渡されます。

なお、神奈川県湯河原町から嬉しい知らせが飛び込んできました。湯河原町では、秘密会の議事録を非公開としたことに対して、それを不服とした町民が裁判を起こしましたが、2月2日に横浜地裁が非公開決定を取り消すという判決を下しました。情報公開条例があるにもかかわらず非公開にするという屁理屈は裁判所には通じませんでした。なお、湯河原町の場合は、情報公開審査会の審査を待たずに裁判に踏み切りましたが、審査会も非公開決定を取り消しています。



寿都町議会全員協議会の議事録公開訴訟は3月29日に判決 (NHK 札幌放送局 HP)



神奈川県湯河原町議会「秘密会」の議事録非公開は取り消し！ (テレビ神奈川 (tvk) HP)

被曝が原因かも。後悔する父。

2011年の福島事故から11年。しかし、当時、福島にいらっしやうった方々のなかには、いまでも苦しんでいる人がいます。北海道に避難された鈴木明広さんには、当時高校2年生だった息子さんがいます。大阪でIT企業に就職していたにもかかわらず、昨年、リンパ腫を発症されたということです。「原発事故がなかったら長男はおそらくこの病気にはならなかったのではないのでしょうか」

ガソリンを入手できず、事故の2週間後まで現地にとどまらざるを得なかった鈴木さんの言葉が胸に突き刺さります。

13版 2022年(令和4年)1月29日(土) 享月

原発避難者訴訟 原告・鈴木さん意見陳述

2011年の東京電力福島第一原発の事故で、福島県などから道内に避難してきた住民らが国と東電を相手取り、慰謝料など約13億6千万円の賠償を求めた控訴審の口頭弁論が28日、札幌高裁であった。原告の避難者が意見陳述し、事故から11年経っても癒えることない苦悩を訴えた。

「原発事故がなかったら長男はおそらくこの病気にならなかったのではないのでしょうか」

現赤平市議の鈴木明広さん(61)は、法廷でこう訴えた。昨年8月に長男(26)が悪性リンパ腫を発症し、札幌で入院治療中であることを明かした。「私は、避難行動が遅れたことによる健康への影響について、毎日自分を責め続けており、長男は発病後、半年間にわたり抗がん剤治療を受け、一時寛解ともいえるほどに回復。しかし12月に再発がわかった。薬の副作用で髪が抜け、吐き気に苦しむ長男の姿を見るのは「心がすたすたに引き裂かれる思いだった」。

閉廷後、原告弁護団の報告会であいさつする鈴木さん(札幌市)

鈴木さんによると、事故当時、停電した福島市内の自宅で、ラジオで原発事故を知ったのが、最も気がかりだったのが、当時高校2年生と中学2年の息子の健康被害。すぐに避難を考えたがガソリンが手に入らず、震災の約2週間後に新潟に一時的避難できた。息子たちの健康を考えると、学習塾を営んでいた故郷の福島市を離れることを決意した。11年9月、先に長男が転校していた函館市に次男とともに避難した。

16年に赤平市に移り住んだ。長男は大阪のIT企業に就職し、次男は道内の食品会社の直営農場で働き始めた。19年、「新しい風を入れてほしい」と請われて赤平市議選に立候補し、当選を果たした。

長男がリンパ腫発症 被曝させて

原発避難者訴訟 原告・鈴木さん意見陳述



閉廷後、原告弁護団の報告会であいさつする鈴木さん(札幌市)



すつつの未来に、核のゴミは必要でしょうか？

残そう、このままの、すつつを。
歩もう、あたらしい、すつつへ。

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

チラシ配布について

新聞折込を再開いたします

町民の会のチラシは、町民の皆さんの協力を得て、全戸配布してきました。しかし、配布ボランティアさんたちに大きなご負担をかけていることから、今号から、ふたたび新聞折込の形で配布させていただきます。これまで協力してくださった皆さんに厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。なお、湯別～磯谷地区については、全戸配布を継続します。

これによりチラシがお手元に届かなくなる町民が出てくると思われれます。新聞を購読していないけれども、チラシが欲しいという方には、以下のお店で配布しています。町民の会会員も声がけするつもりですが、町民の皆様も口コミで広げてくださると助かります。美容室ミリアン（渡島町） ペンションメロー（鮫取潤） 吉野商店（美谷）

なお、ホームページやフェイスブックにも、チラシはアップしています。

美味しい我が故郷⑥



みなとまーれの新メニュー。
スケソウダラのワンタン麺。おすすめです！

町民の会川柳⑧

対話とは 説得じゃなく 話す聞く
 子供にも 権利があるよ 未来への
 札束で ふるさとを売る 泣けてくる
 仏壇に なんと言えば いいのやら
 闇だらけ 主役のいない 町ごっこ
 このでかい おたまじゃくし どう食べる？
 お客さん それはゴツコと いうサカナ
 出汁とって 豆腐とネギ入れ ゴツコ汁
 パンドラは 弁慶ゆだねし 希望の灯（ひ）
 無垢の目が 町の行く末 見つめてる
 残そうよ きれいな海と この自然
 欲しいのは お金じゃなくて 助け合い
 考えて 寿都の未来 子の未来
 NUMOの 七人衆は 町民か？
 町消える 核ゴミ金の 町づくり

（ひ） （つ） （ま） （の） （の） （つ） （つ） （た） （た） （た） （ほ） （た） （た） （の） （の）

あなたの川柳もぜひお寄せください。
kakugomino@gmail.com

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

事務局 048-0401 寿都郡寿都町字新栄町 101-6
 TEL/FAX : 0136-62-3630 kakugomino@gmail.com
 HP : <http://kakugomi.no.coocan.jp/>
 FB : <https://www.facebook.com/106569234530018/>
 北海道銀行寿都支店(店番号 304)普通 0481374
 ゆうちよ銀行 記号:19070 番号:44246811

